

# シネマズライフ

2018年2月2日発行 第138号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

たかざ りおん  
貴樹 諒音

【最近のこれはお見事！】

『ゆるめる人魚』何故か、人魚がワルシヤワにやつて来て人気者になるが、実は……ってお話で題名のように優しい話じゃないみたい。

【最近のこれはまずいぞ！】

『サラバ静寂』【静寂】つてあるけど、音楽に関わりがありそうです。

## 映画の風景 日本の風景

### ※ 日本の南極観測基地 ドームふじ基地 ※



← 南極の地図。●が日本の基地と南極点

『南極料理人』という映画があつた。こんな映画だ。

海上保安庁所属の調理人・西村は先輩の鈴木が事故つてしまひ、急遽南極に行く事になってしまひ、断崖の息子を日本に残し南極へ。しかし、着いたところは昭和基地から離れて「南極ドームふじ基地」。ここで研究に没頭している8人の隊員達の食事を作るのだ。極寒を通り越す南極に暮らす面々は、家族への連絡もままならず男ばかりで暮らす基地では『食べる事』だけが楽しみ。

【お刺身とてんぷら】  
【納豆と卵焼き】  
【おにぎり】熱々のお味噌汁】  
そして、極め付けは、『伊勢海老のフライ』！

一方、『トライアスロン』の為、裸でドームの外で自転車の練習をする人がいたり、車に引きこもる人、ライメンの禁断症状！に苦しんだりする人がいたり……。

舞台はドームふじ基地。一面の雪・雪・雪！その中で暑らしい一年の悲喜こももも何故か人間が愛おしいと思えてくる。

南極は（南極条約）によつて、多くの国が基地を作る研究の場で、地球で一番平和な地になつたかもしれない。現在・これからは多くの国が『月に進出しよう』としているが『抜け駆け』を狙っている国もあるようだ。月を眺める地球人達の為にも、月だけは『平和な場所』にしてほしいと思うのだが。

『南極料理人』2009年日本 監督 脚本：沖田修一 原作：西村淳  
出演：堺雅人 生瀬勝久 さだろう 高良健吾 豊原功補 西田路美 古小出早織 守岡剛士 嶋田久作

プロの料理人でもある西村氏のレピシが多く登場。フランス料理もおいしそうだが、純和風の朝ごはん・おにぎりと味噌汁が一番おいしそうなのはやはり私日本人ゆえか(´\_`)

### コラム 東京も雪！という件

何年に一回の久しぶり大雪が降り東京は雪景色。

なんと、熊本にも積もるほど降っているそうで、最近ではこれが驚いたニュースの一つだ。先月は九州・山口地方も水道管の破裂や損傷で断水し、今後まだまだ続くだろう。寒波も大丈夫だろうか、といおせつかいな事を考えてしまう。

ネットで天気サイトを見るとなんと「凍結指数」なるものがあひ、まだまだ熊本も凍結危機は無くならないようだ。

九州の人達もまさか、水道が断水するほど雪が降るとは思つていなかっただろう。東京の雪景色は意外と美しい。天は私達に何を言いたいのだろうか。



↑ 冬の相倉合掌造り

Wikipediaを参考に  
させていただきました。m(\_ \_)m

☆【最近のこれはお見事！】は見事な映画の題名の紹介、反して【最近のこれはまずいぞ！】は「これは、まずいぞ！」と思う題名を紹介しています。



